



平成17年  
統計局総務課予算係  
平成20年  
大臣官房会計課  
平成22年  
(独)統計センター総務課  
給与係  
平成25年  
(現職)



復興庁  
澁谷 和明  
Shibuya Kazuaki



平成17年採用  
統計局官庁参事官付

## 統計業務だけではなく

### ◆総務省統計局に決めた理由は？

#### 『実は身近な統計』

私が通っていた専門学校で開催された説明会に参加し、「統計」が、実は自分の生活に大きく関わっていることを知りました。また、当時は実家暮らしだった私も、知らない間に総務省統計局で実施している国勢調査に5年に1度は参加していた事とても面白く感じ、興味が湧いた事が理由です。

### ◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

#### 『復興庁での業務』

採用後は、統計局と大臣官房会計課で予算業務を5年経験し、独立行政法人統計センターでの給与業務を挟んで、現在は、出向先である復興庁に計上される総務省事業の予算を主に担当しています。

復興庁の業務は、今までに経験のない作業もありますが、他省庁からの出向者と協力して業務に当たっています。

### ◆仕事の魅力とやりがいは？

#### 『国の事業の最前線』

これは予算業務に限った話ではないと思いますが、ニュースで取り上げられた問題などがリアルタイムで自分の仕事になることがあり、国の事業に国家公務員として最前線で関わっていることを強く実感する瞬間に、やりがいと魅力を感じます。

### ◆みなさんへメッセージ！

#### 『様々な業務を楽しむに』

実際に働くまでは漠然としたイメージしか持てないと思いますが、採用後は上司や先輩からのサポートや研修といった形できちんとフォローがありますので、「特殊な業務」だと思わなくても大丈夫です。統計に対して興味とやる気があるならば、是非、統計局を選んでみたいと思います。また、統計業務だけではなく、様々な業務に携わることがありますので、自分がどんな業務に携わるのか、楽しみにしていただければと思います。

### ◆総務省統計局に決めた理由は？

#### 『女性が多く活躍する職場』

官庁訪問で統計局を訪れた際、統計調査については国勢調査、労働力調査くらいしか知らず、業務内容に少し不安を感じました。しかし、統計局では多くの女性が活躍しており、実際に見た職場の雰囲気は温かさを感じたので、ここで働いてみようと思いました。

### ◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

#### 『統計以外の業務に携わる機会も』

私は、統計調査の実施や調査結果の公表、統計局や他省庁等で行った調査結果のうち、地域別のデータを取りまとめて整備するという統計に関する業務を行う部署と、職員をサポートする総務的な業務を行う部署とを交互に異動しています。そして現在は、総務省統計局から内閣官房内閣人事局という新しい組織へ出向し、国家公務員の服務や勤務時間に関する業務を行っています。

### ◆仕事の魅力とやりがいは？

#### 『必要とされている仕事をしているという実感』

新聞やテレビ番組で自分が携わった統計書のデータが使用されているのを見ると、嬉しくなると同時に、人や社会に必要とされている仕事をしているという実感が湧きます。また、統計業務のみでなく、他の様々な業務に携われることは、その仕事に慣れるまでは大変ですが、その都度良い経験をさせていただいていると思います。

### ◆みなさんへメッセージ！

#### 『将来の選択肢の1つに統計局を』

統計局という名前をご覧になった際に、私と同じように「統計の知識が無いから不安」と思われる方もいるかもしれませんが、実際に勤めてみると、多くの先輩職員が積極的に業務を教えてくださいましたので、心配はいりません。みなさんにはこれからの将来について、多くの選択肢があるかと思いますが、まずは統計局の業務説明会等へご参加いただくと嬉しいです。

## 温かい雰囲気の職場です



平成19年  
統計局労働力人口統計  
室企画指導第二係  
平成21年  
統計局総務課人事係  
平成28年  
統計局調査企画課  
社会生活統計指導係  
平成25年  
統計局  
統計情報システム課  
統計情報企画室  
社会生活統計指導係  
平成26年  
(現職)

内閣官房内閣人事局  
小川 麻夕美  
Ogawa Mayumi

平成19年採用  
服務・勤務時間係

